

## JMOOC 出展

### 1. 概要

インターネットを利用したオープン教育は、学生に対する学修補助効果、教育の質の向上が期待されるだけでなく、「大学の知」を社会に還元する社会貢献にもつながるものであり、本学の新たな「価値」「意味」を創出する役割を担うと考えられる。また、広報効果として、その性質から国内のみならずグローバルに本学の知名度を高めることが期待できる。

このようなことから、本学は2014年度より日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOOC）に参加し、講座を開講してきている。2015年度は1講座をJMOOC公認プラットフォームにて開講した。

### 2. 出展状況

#### (1). 開講講座情報

講座名：グローバリゼーション下の日本経済と日本企業

講師：経済学部経済学科 教授 郭洋春

講座教育コーチ：経済学部兼任講師3名（大津健登、深澤光樹、山中達也）

開講期間：2015年11月17日（火）～2016年1月29日（金）

受講登録者数：2,857名

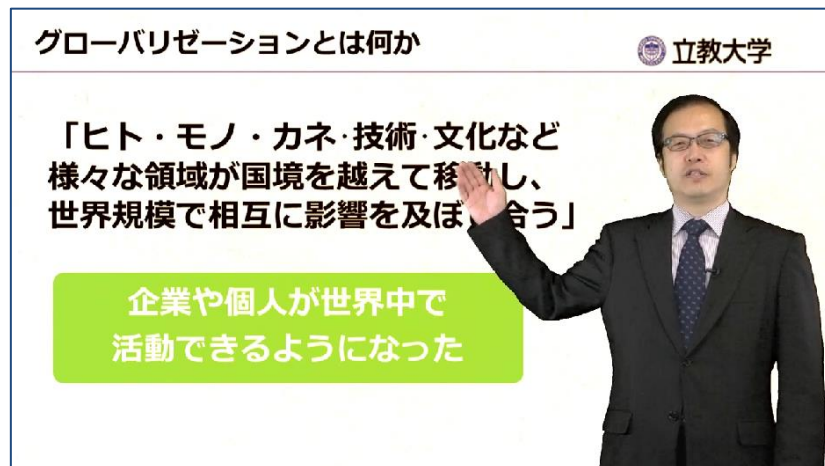


図 1：グローバリゼーション下での日本経済と日本企業 講座動画

(2). アンケート集計

受講者の WEB アンケート結果の集計は以下の通りである。なお、アンケートへの回答は任意のため、各回答で合計数の差が出ている。

① 年齢分布

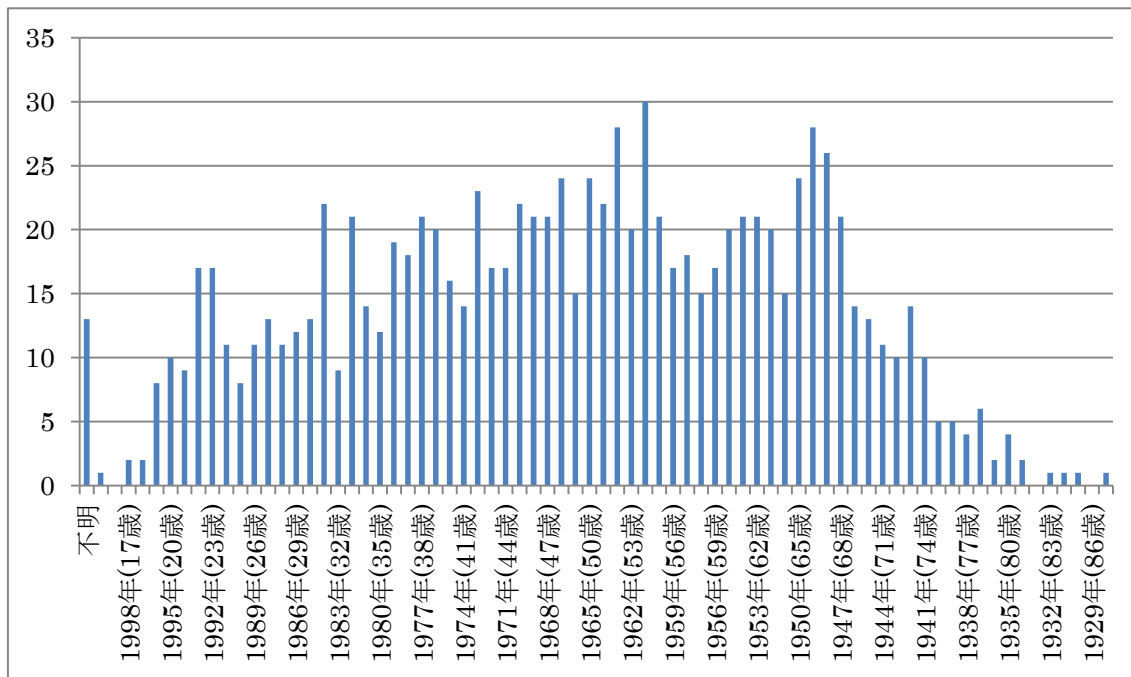


図 2：年齢分布（受講前アンケート結果）

② 職業

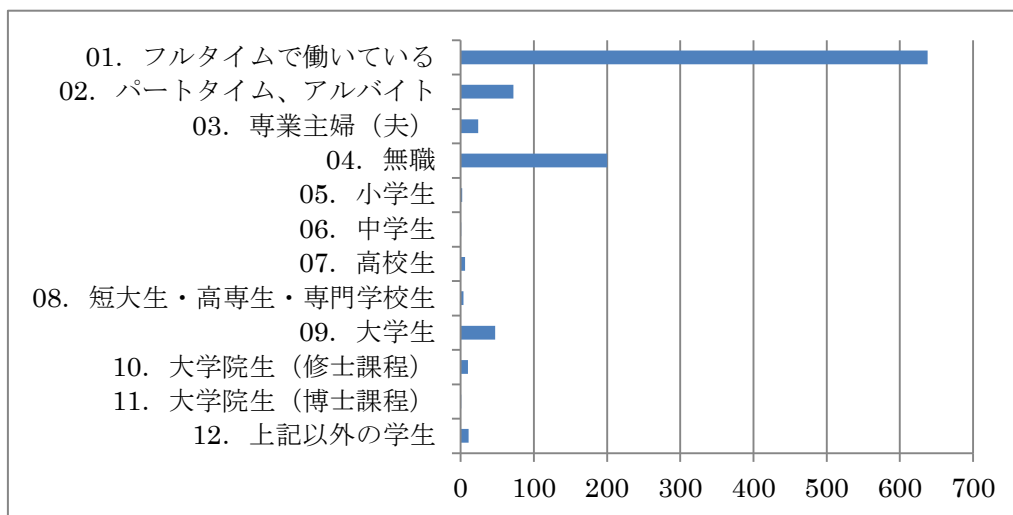


図 3：職業（受講前アンケート結果）

③ e-learning 受講経験の有無

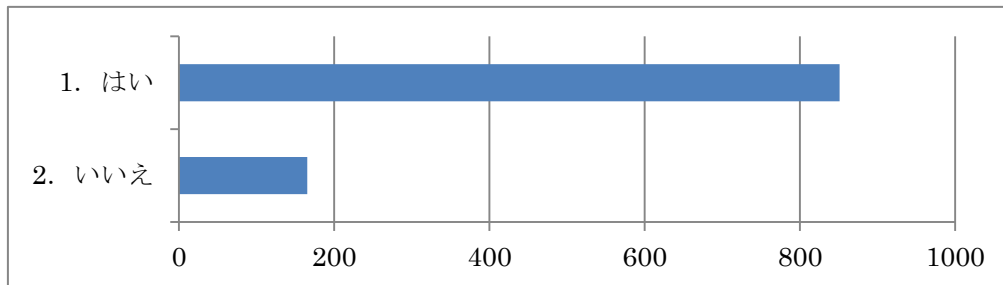


図 4: e-learning 受講経験の有無 (受講前アンケート結果)

④ 受講経験がある e-learning の種類 (複数回答可)

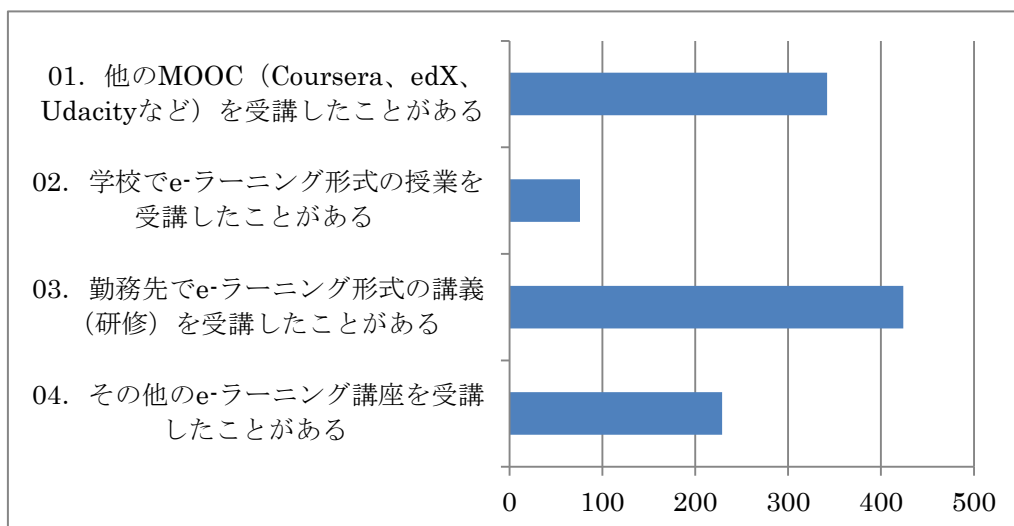


図 5: 受講経験がある e-learning の種類 (受講前アンケート結果)

⑤ 本学との関係

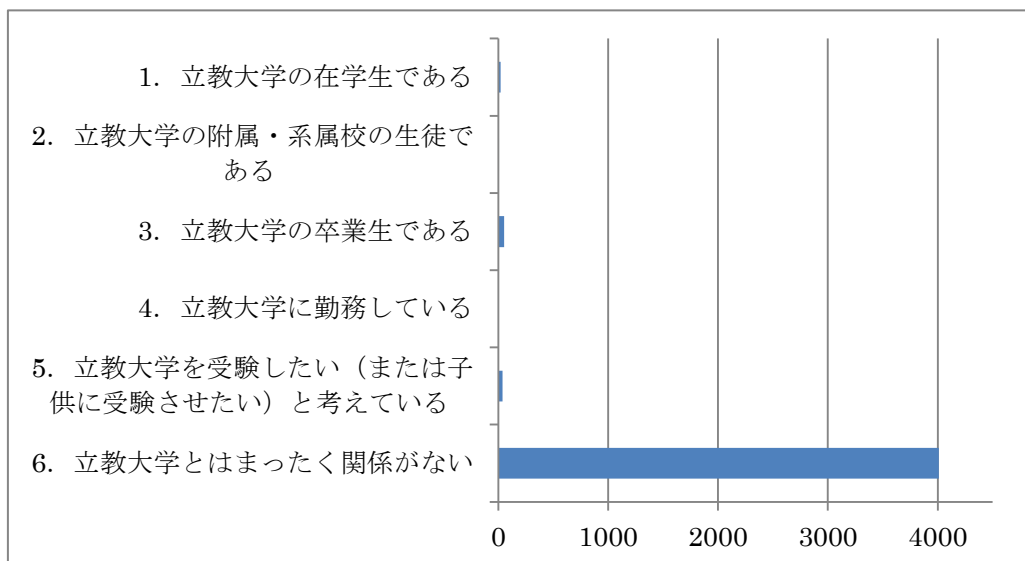


図 6：立教大学との関係（受講前アンケート結果）

⑥ 受講満足度

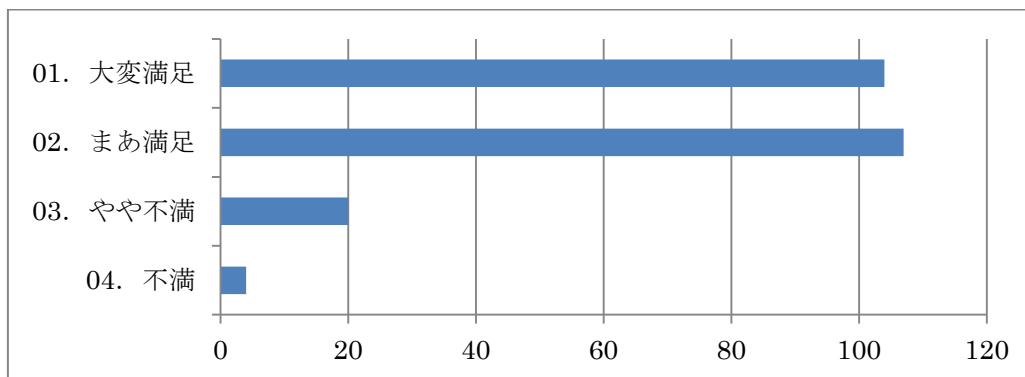


図 7：受講満足度（受講後アンケート結果）

3. 2015 年度のまとめ

本学では 3 講座目の出展であったが、講師および教育コーチの方々の協力のもと、予定どおり 11 月中旬に開講を迎え、受講登録者は 2,857 名に及んだ。

アンケート結果から、主に本学とは関係がない社会人が幅広い年齢層で受講しており（図 2、3、6）、e-learning 受講の経験者が多いことがわかる（図 4、5）。昨年度に比べて受講者の年齢層に目立った偏りが見られないのは、講座内容によるものと推察される。また、本講座の受講後の満足度は高い状況であった（図 7）。

JMOOC は 2 年目を迎え出展される講座数も増えているため、1 つの講座に登録される受講者数は相対的に減ってきている。一方、当講座の修了率は、昨年度の講座に比べ上がっていることから、興味のある講座を最後まで受講する傾向に変わってきたと推察される。